

# 銀山温泉 能登屋旅館

Ginzan Onsen Notoya Ryokan  
(山形県尾花沢市)



東北旅行の2泊目、銀山温泉の老舗・能登屋旅館を紹介する。本日は磐梯山ゴールドラインを経て米沢に入り、上杉神社を参拝し、米沢ラーメンを食し、銀山温泉へやってきた。銀山温泉は温泉街の道路が狭く、車の乗り入れはできない。車は温泉街入口の駐車場にデポし、そこまで宿の従業員に荷物を取りに来ていただくことになる。従業員が原付バイクで荷物を運ぶ間に、客は徒歩で銀山温泉の景観を楽しみながら宿へ向かうのである。

その景観は圧巻だ。川の両側に古い建物が林立。実に美しい。宿の中にはコロナの感染者が増えている東京からの宿泊予約を露骨に拒絶する宿もあり、宿を探すのに苦労したが、能登屋旅館という銀山温泉のランドマーク的な宿を予約できた。能登屋旅館もまた古い宿であり、その外観は素晴らしい。表札がてらに創業者らしき人名が大きく表示されている。

中に入ると既に荷物がフロントの前に置かれている。フロントでチェックイン手続きを行い、従業員に荷物を運んでいただき、客室へ。宿泊したのは真新しい別館2階の客室。まだ畳のにおいがするきれいな部屋である。早速冷蔵庫に、道中の上杉神社界隈で買った日本酒を入れ、風呂へ。



まず紹介するのは展望露天風呂である。展望露天風呂は事前に予約が必要だ。フロントで鍵を受け取り、別館 2 階からさらに階段を 80 段以上登る。階段は屋内なのだが、最後は屋外を 20m ほど歩くと展望露天風呂の建屋に到着する。中に入ると脱衣室には脱いだものを入れる籠が 4 個置いてある。定員は 4 人ということであろう。浴室には石鹸類は一切置かれていない。体を洗うことよりも、展望を楽しむことを優先するべきであるからだ。露天風呂といっても壁がないだけなので、半露天と言ったところか。露天風呂からは林が見え、林の先には「白銀の滝」と思われる滝が見える。手前には対になったような杉の大木が生えている。森林と滝のマイナスイオンをたっぷり浴びながらの入浴を楽しめる。



次に向かったのはフロントの横にある地下洞窟風呂である。こちらは予約の必要はないが、貸切風呂である。空いていれば、中から鍵を閉めて利用する。脱衣室には籠が 2 個しかないが、浴室は定員 4 人程度であろう。浴室はかなり湿度が高く、まるでウェットサウナである。石鹸類は何も置かれておらず、展望露天風呂と同様に浴槽に浸かるだけの利用方法となる。湯温は恐ろしく熱かったため、水で薄めざるを得なかった。洞窟と言っても地下の空間を利用しているだけなので、必ずしも洞窟ではない。

最後に向かったのは別館 2 階にある大浴場だ。脱衣室には籠が 14 個の他、貴重品ロッカー 6 個、洗面台 3 個もある。アメニティーは、アフターシェーブローション、ヘアトニック、ヘアリキッド、髭剃り、櫛、ドライヤーが具備されている。また、脱衣室にはクマザ

サシャンプーが置かれており、自由に浴室で使用してよい。これは保湿効果がある製品とのことだ。中に入ると石貼で落ち着いた雰囲気での現代的な浴室が待っている。通りに面した古い建物外観からは想像できない内装だ。洗い場は 6 か所あり、それぞれが石の壁で仕切られている。ダージリンティーのシャンプー、コンディショナー、ボディソープの他、洗顔フォームが完備。内湯の浴槽（定員 10 人程度）は適温で、露天風呂（定員 4 人程度）はややぬるめである。

ちなみに、能登屋旅館の湯はナトリウム塩化物・硫酸塩温泉で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、抹消循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたま



るなど)、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、皮膚乾燥症などに効くという。

夕食は鯉の甘露煮や、ところてんに豆腐を混ぜたような滝川豆腐と言った郷土料理の他、霜降り肉の尾花沢牛のしゃぶしゃぶを食し、満腹に。食後の散歩がてら、温泉街の夜景を見に行く。ライトアップされた建物が美しい。银山温泉はたくさんの人でにぎわっていた。



DATA

名称	銀山温泉 能登屋旅館
所在地	山形県尾花沢市銀山温泉
電話	0237-28-2327
営業時間	24：00～5：00 以外の時間帯
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	銀山温泉スキー場